

授業概要

- ・乳幼児が、歌や楽器によって自己表現したものを受け止め、音楽する喜びを味わわせることのできる保育者を養成するという観点から、幼児期における音楽教育の重要性を理論的に学び、実践的指導力を養うための音楽活動について指導する。
- ・ワークショップ型の授業を行い、自らの表現能力とコミュニケーション能力を高める。
- ・学びを深めるために、毎回、授業終了時に「振り返りシート」を配布し、次の授業で提出する。

授業計画

第 1 回	・ 授業の進め方説明 ・ 表現とは
第 2 回	リズム遊び(言葉とリズム)→楽譜に表す
第 3 回	リズムアンサンブル
第 4 回	楽器の活動①トーンチャイムによるアンサンブル
第 5 回	楽器の活動②ミュージックベルによるアンサンブル
第 6 回	楽器の活動③合奏曲の指導法
第 7 回	童話の BGM 作り(グループ)①創作
第 8 回	童話の BGM 作り(グループ)②発表
第 9 回	「ニコニコ動物合唱隊」(パペット)を使ったグループ活動①練習
第 10 回	「ニコニコ動物合唱隊」(パペット)を使ったグループ活動②発表
第 11 回	遊び歌①ふれあい遊び歌・The 定番! 遊び歌・夢いっぱい遊び歌・わらべうた・歌を伴うゲーム
第 12 回	遊び歌②模擬保育
第 13 回	歌唱指導のための資料
第 14 回	歌の活動①パネルシアター・ペープサート・テブクロシアター・歌紙芝居を用いた指導案作成
第 15 回	歌の活動②作成した指導案による模擬保育
第 16 回	授業の振り返り レポート作成

到達目標

- ・リズムアンサンブルのための作品が作れる。
- ・様々な楽器の名称や奏法を理解する。
- ・保育活動で使う手遊びや歌遊びを指導する技術を習得する。
- ・指導案作成のポイントを理解する。

履修上の注意

- ・積極的に授業に臨み、必ず予習復習をすること。
- ・発表は全て VTR で記録する。
- ・提出物は期限を守ること。
- ・グループ活動が多いので、欠席をしないこと。
- ・遅刻は、やむを得ない場合 15 分以内で認めることがある。それ以降は欠席とする。遅刻 3 回で欠席 1 回とする。

予習復習

授業内で得た知識および指導技術は必ず復習をして、教育実習・保育実習の際に活用できるようにしておく。

評価方法

- ・発表、提出物、活動への関わり方を総合的に評価

テキスト

『アイディアいっぱい 保育者のための音楽表現』 金指初恵編著 大学図書出版